

岩見沢市

## 緑の相談コーナーだより

N O . 3 4 2 2 0 1 3 . 1 2 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

### 身近な樹木 “ミヤマシキミ”（深山櫻） ～冬の深山に真っ赤な美しい実が熟れる～



Skimmia japonica THUNB.  
ミヤマシキミ

ミカン科の常緑低木で、本州・四国・九州の冷温帶の山地に分布し、山中の森林の樹下に生育します。また、北海道や南千島、サハリンにも分布する変種のツルシキミは、茎の下部が地を這い、つる状で、葉は凹入していません。<sup>みやませんりょう</sup>生け花では通称深山千両と呼ばれており、俳句の世界では変種のツルシキミもミヤマシキミと同様に扱われています。両種とも葉は柔らかな革質で橢円形、表は黄緑色、裏は帯黄緑色で多数の油点があります。早春に多数の小さな白色四弁花を枝先につけます。雌雄異株で、雌株は花後に球状の果実を5~6個結び、これが冬になると熟して真っ赤な美しい実となります。

この実には毒があるので注意が必要ですが、有毒植物とはいえ、冬に真っ赤な実が枝先に集まっているのを見るのは何ともうれしいものです。

植物名の由来ですが、枝や葉の形がシキミ科のシキミに似ており、深山に生えることからミヤマシキミの名があり、ツルシキミは蔓状に伸びることに由来するといわれます。

用途と効用ですが、外国では有数の装飾樹とされ、庭園樹としても用いられています。しかし、日本で装飾用や庭木として用いられるようになってきたのは最近のことです。生け花では、主として秋から冬、果実のあるときに花材とします。ただし、名が悪く毒性もあるので祝いの席には不向きとされます。



Skimmia japonica THUNB.  
var. intermedia KOMATSU  
form. repens HARA  
ツルシキミ

ミヤマシキミの材には、フラバノン配糖体ヘスペリジン、クマリン配糖体スキムミンという物質があり、葉や果実には、はげしい痙攣毒があります。また、アルカロイドのスキムミアニンも含まれており、葉の煎汁は殺虫剤として用います。

栽培・増殖するには、実生か挿し木によります。紅色に熟した果実を採取し、ふるいなどの上でつぶし果肉を水洗除去し、水切りした種子をとりまきします。挿し木は雌木から採穂し、春挿しは前年の枝を、夏挿しは当年の枝を用います。

人遠しみ山櫻のあり所

松瀬青々

朝日観音深山櫻に水ひびき

つじ加代子

バラ園



## 公園だより



師走を迎えると、巷では気ぜわしい年の瀬の賑わいの季節となります。バラ園には静寂が広がってきます。裏山も錦秋の紅葉が木枯らしに衣を奪われ、今は淋しい枯れ木立となりました。それでも、ハマナスの丘では、降り積む雪の中に取り残されたハマナスの実が真っ赤に色づいて、真白な雪原と微妙なコントラストを見せております。

今年は大雪の影響で春の雪解けが遅れ、農作業の始まりが大幅に遅くなっています。園芸好きの皆さんにはやきもきした1年だったと思います。それでも、初夏を迎えた頃から天候も良くなり、結構な出来秋を迎えることができました。とりわけ秋の紅葉の美しい年だったように感じられます。1昨年から続いた豪雪の岩見沢ですが、さてこの冬はどうなることでしょう。皆さんと共に、穏やかな新年を迎えられることを祈念したいものです。

今月のバラ園からの一口メモは、冬越し後のバラの手入れについてです。今、北国のバラは雪の布団をかぶり、深い眠りについていますが、やがて雪解けとともに目を覚します。この時期が、北海道ではバラ手入れ作業のスタートです。まず、冬の間に枯れた枝が見つかったら切りとります。芽が多くすぎる場合、混み合いがちな内側に伸びている芽を取りましょう。このように、芽の数を減らすことで養分の分散が抑えられ、残された枝がいっそう充実するのです。また、どの芽を整理するかによって、枝の向きを調整し、樹形を整えることができます。

色彩館では、サザンカの花が満開になり、美しいピンクの色どりが緑の芝生に映えて、師走を迎えた外界とのコントラストが一層際立ってきました。クリスマス近くには、ヤブツバキの花も見頃となることでしょう。

南国温室では、小ミカンや柑橘類がオレンジ色に色づき、真っ赤なハイビスカスの花や極楽鳥花、ランタナなどの花も咲き、ビロウに房状のブドウのような実がつきました。ここでは南国情緒をたっぷりとお楽しみ下さい。

## 相談日記

**問** 秋が深まる頃になると、毎年落ち葉が庭一面を覆って掃除がたいへんです。昔は落ち葉焚きが秋の風物詩でしたが、都市化が進んできた昨今ではそれもできません。そこで、これを腐葉土としてリサイクルし、有効利用できればと考えていますが、落ち葉で腐葉土をつくる簡単な方法と作業のポイントなどについて知りたいのですが？

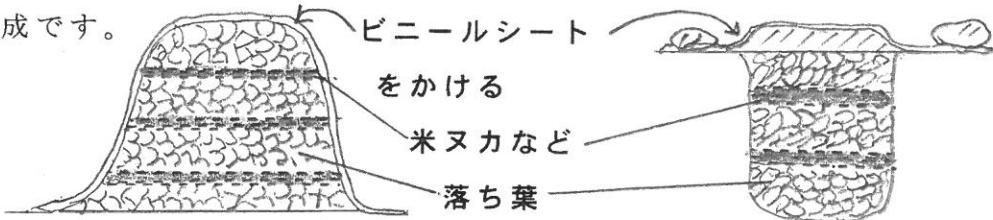
**答** 落ち葉主体の堆肥のことを、ふつう腐葉土とか落ち葉堆肥といいます。腐葉土は、通気性に富み、保水性や保肥性を持った土壤改良材的な資材で、単品で使われることではなく、通常は他の用土と混せて使います。

この腐葉土をつくる原料ですが、カンバ類、モミジ類、ナラ類、モクレン、プラタナスなどの広葉樹の葉が最も適しています。しかし、サクラ類、イチョウやマツ類は分解しづらいので混ぜないようにしましょう。

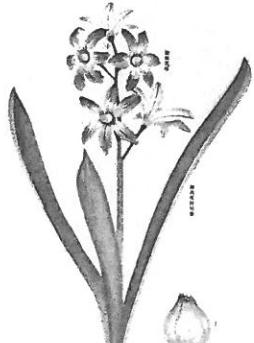
**腐葉土作りのポイント** 第一に、適当な水分と酸素を供給する必要があります。水分が多くなると酸素不足で発酵が進みません。また、乾き過ぎても発酵は停止します。次に、微生物の活動を活発にすることです。落ち葉を分解する細菌・放線菌・糸状菌などの土壤微生物は、十分な酸素と適当な水分、餌となるチッソを与えると数が増え元気になるのです。なお、落ち葉堆肥を積み上げる場所は、建物の陰や庭木の下など、直射日光の当たらないところにしましょう。

作り方は、地上に積み上げる方法と穴に埋め込む方法などがありますが、ここでは後者について説明します。まず、地面に 50 cm 角くらいの穴を掘り、落ち葉を詰め込んで行きます。この規模で 125 L の容量があり、250 ~ 300 L の落ち葉が処理できます。ここに落ち葉を 15 cm くらいの厚さに踏み込み、その上に米糠（油粕、鶏糞）等を霜降り状にまきこれを繰り返して行きます。この時の落ち葉の水分は 60%（手で絞ると指の間から水が出る程度）にします。踏み込みが終われば、上からビニールフィルムで覆い雨水が入らないようにして完了です。

翌春、全体が良く混ざるように積み替えます（切り返し）。その後発酵が終わり、葉の色が黒く変わり、形も多少崩れているか手でもむと直ぐに崩れる程度まで腐熟していれば完成です。



## 春の雪解けを待つ咲く可憐な花～チオノドグサ 花言葉 たくましさ



チオノドグサは、別名ユキゲユリともいわれる耐寒性の強いユリ科の秋植球根植物です。名前の由来も「雪の誉」を意味するギリシャ語からきています。強健なので栽培は容易で、木陰に植えたままでも旺盛に殖えますが、多肥は禁物です。

原産地は、東地中海から小アジア地方の高山および亜高山で、早春に花と葉が同時に生じます。花茎が短く、葉数も少なくて全体に小形であることから、ロックガーデンや鉢植えに利用されています。

よく日の当たる、肥沃で水はけのよい壤土に適していますが、必ずしも土質を選ばない丈夫な球根です。植え付けの深さは7cm、株間は3cmくらいとし、3～4年に1回掘りあげて移植します。

増殖は分球と種子によりますが、自然放植でもこぼれ種で広がります。暖地では、高温のため、数年で球根が弱るので、出葉の遅い落葉樹の下などに植えますが、本道では裸地で普通に繁殖します。

## 12～1月の園芸講座・行事案内

### 市民園芸講座の内容紹介

#### ♣ 冬の写真教室

日時 12月 1日（日） 10：00～12：00



講師 ナチュラリー写真家 若林 信男さん 定員 20人 参加料 無料

#### ♣ お正月のアレンジメント

日時 12月 8日（日） 13：00～15：00

講師 中央フラワー協会 伊藤とみ子さん 定員 40人 材料代 2000円

† ♥ クリスマスオカリナ・コンサートが開かれます。

日時 12月 8日（日） 14：00～15：00

μオカリナ演奏 斎藤かすみさん ✕ ピアノ演奏 角田さとみさん

#### ♣ 庭木・花木・果樹管理の基本

日時 1月 26日（日） 13：00～15：00

講師 緑化相談員（樹木医） 泉征三郎 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111まで